

# IR 事業説明会 情報通信ソリューション事業

2016年5月30日

情報通信ソリューション統括部門長

中村俊一

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

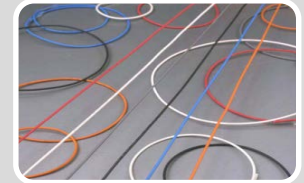
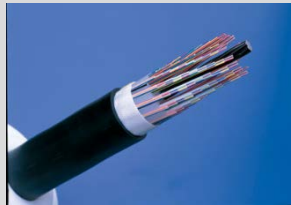
従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

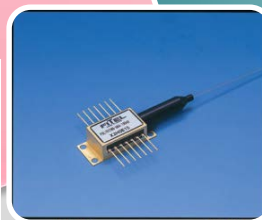
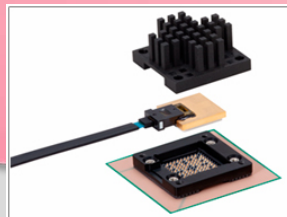
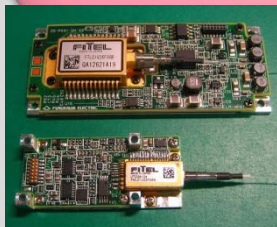
古河電気工業株式会社

## ファイバ・ケーブル 事業



## ソリューション & システム事業

## ファイテル製品 事業



## ブロードバンド 事業



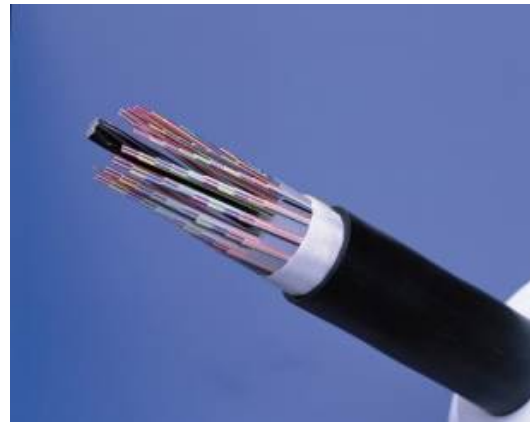
## 多岐に渡る製品ラインナップと新製品開発力で 全世界の様々な情報通信網の発展に貢献

**※当社のファイバ・ケーブル事業は世界最大手の一角**

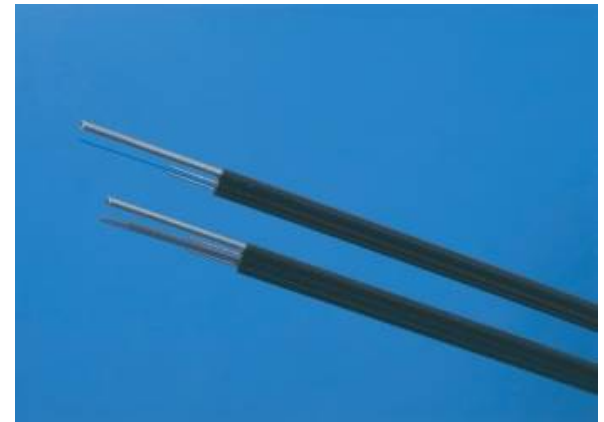
～ 2001年に旧ルーセントテクノロジーズ社の光ファイバ事業(OFS社)を継承 ～



光ファイバ



多心光ケーブル

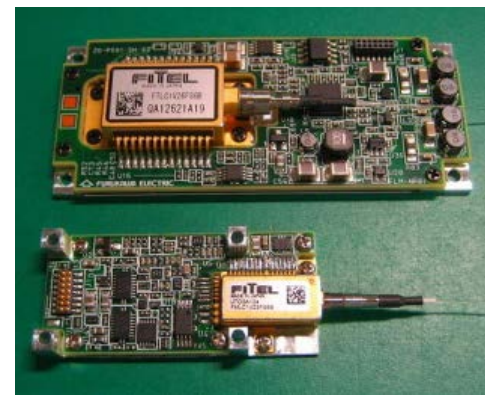


光ドロップケーブル

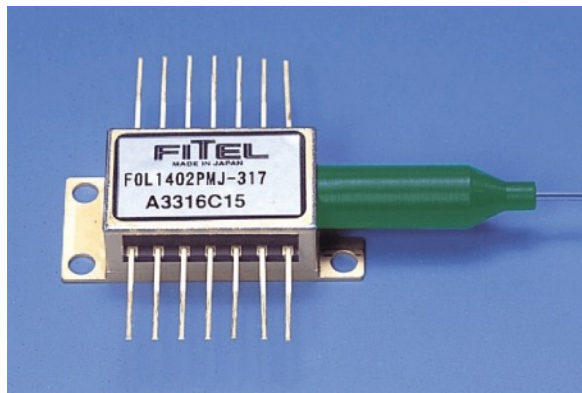
## 多様な光関連部品・機器・システムの提供を通じて 高速・大容量通信社会の構築に寄与

光デジタルコヒーレント通信向け光部品（ITLAなど）  
FTTX向け通信工事用機器（光接続部品、装置など）  
ファイバレーザ・光監視・管理用システム など

**※ITLAの世界シェアは第1位**



波長可変レーザモジュール（ITLA）



高出力レーザモジュール



光コネクタコード



高速・大容量通信や放送用の装置、システムなどを  
トータルソリューションとして提供  
～ インフラ強靱化、防災・減災等に関するシステム拡販も開始 ～

FTTH光伝送システム、GE-PONシステム

高機能ルータ、緊急告知防災ラジオ、各種アンテナ など

※GE-PON通信端末はCATV業界でトップシェア(ほぼ70%)



GE-PON  
システム



高機能ルータ



緊急告知防災ラジ  
オ



放送アンテナ

グローバルな  
顧客要望

解決

顧客満足  
向上  
(付加価値創出)

収集・分析  
(マーケティング)

カスタマイズした解決策  
(ソリューション)  
提供

設計(組み合わせ・最適化)・保守メンテ・サービス

光ファイバ  
ケーブル

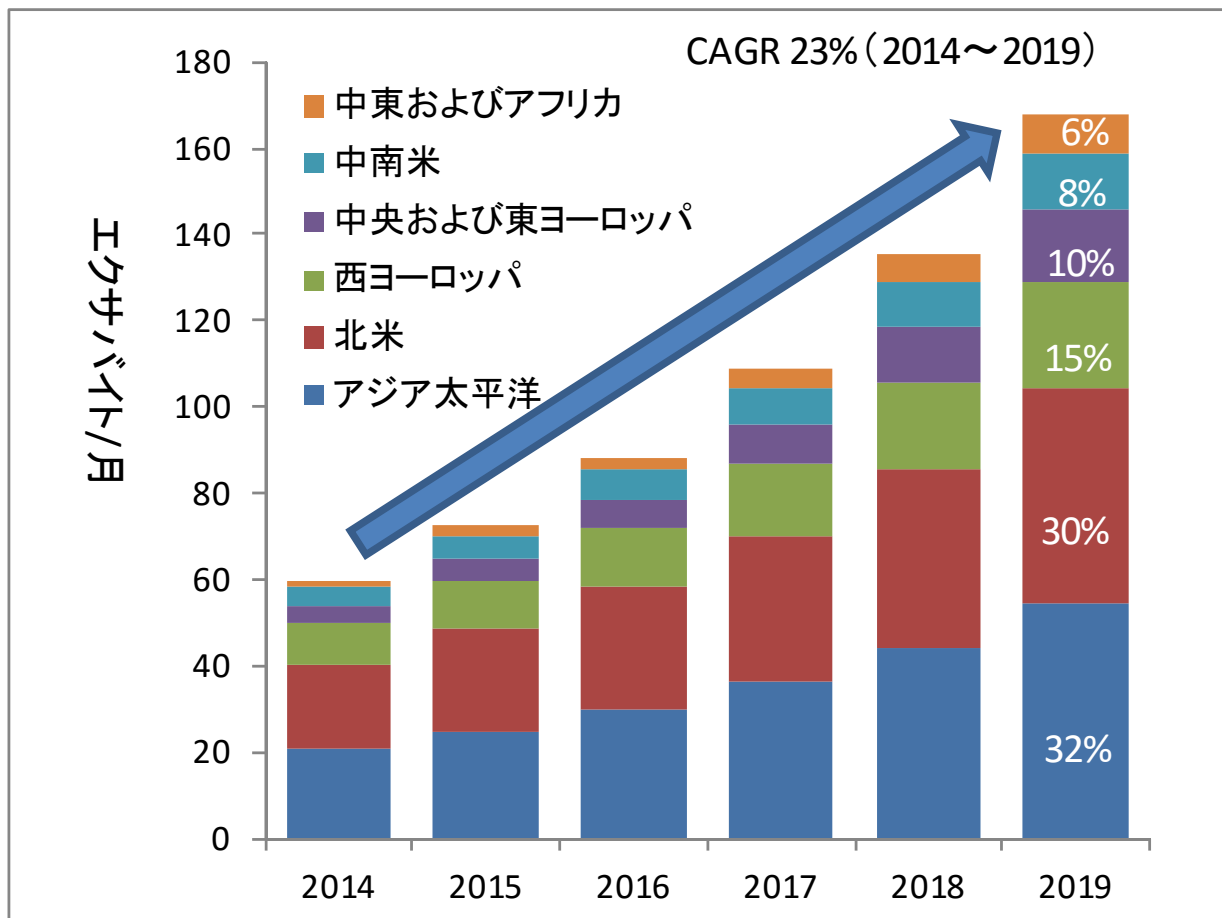
付属品

光部品

装置  
ソフトウェア  
施工

当社グループの製品・技術リソース+外部調達

## IPTraフィックは2014年から2019年で 約3倍になると予測

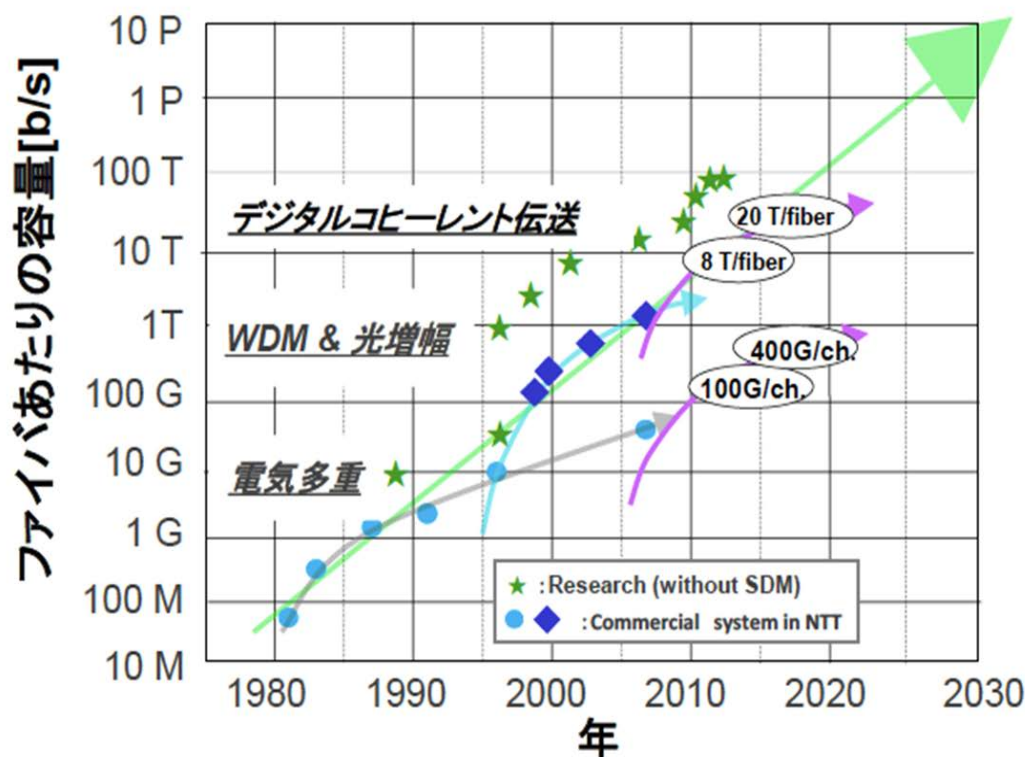


出典 CISCO Visual Networking Index (VNI)  
Global IP Traffic (Exabyte/Month)

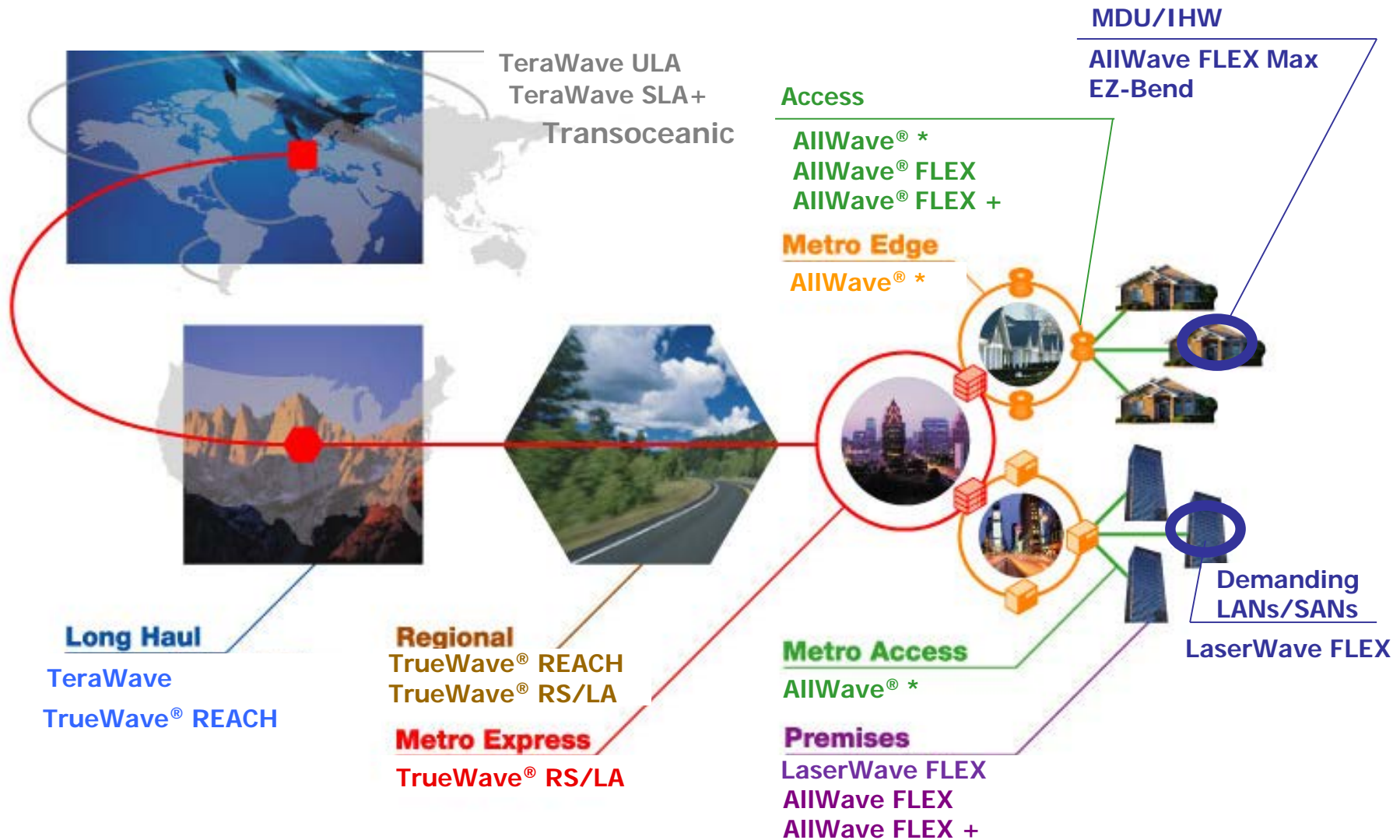


## 長距離・海底は100G/400Gのデジタルコヒーレント通信が主流

- 1) メトロネットワークを中心に2018年には10G<100Gとなる見込み
- 2) ハイパーデータセンタ間の接続に400Gの導入が促進
- 3) 通信ボーダレス化を支える光海底ケーブル需要は更に増加



出典:NTT技術ジャーナル(2014.8)からの抜粋



\* AllWave® には、AllWave One、AllWave +、AllWave LL、standard AllWaveがある

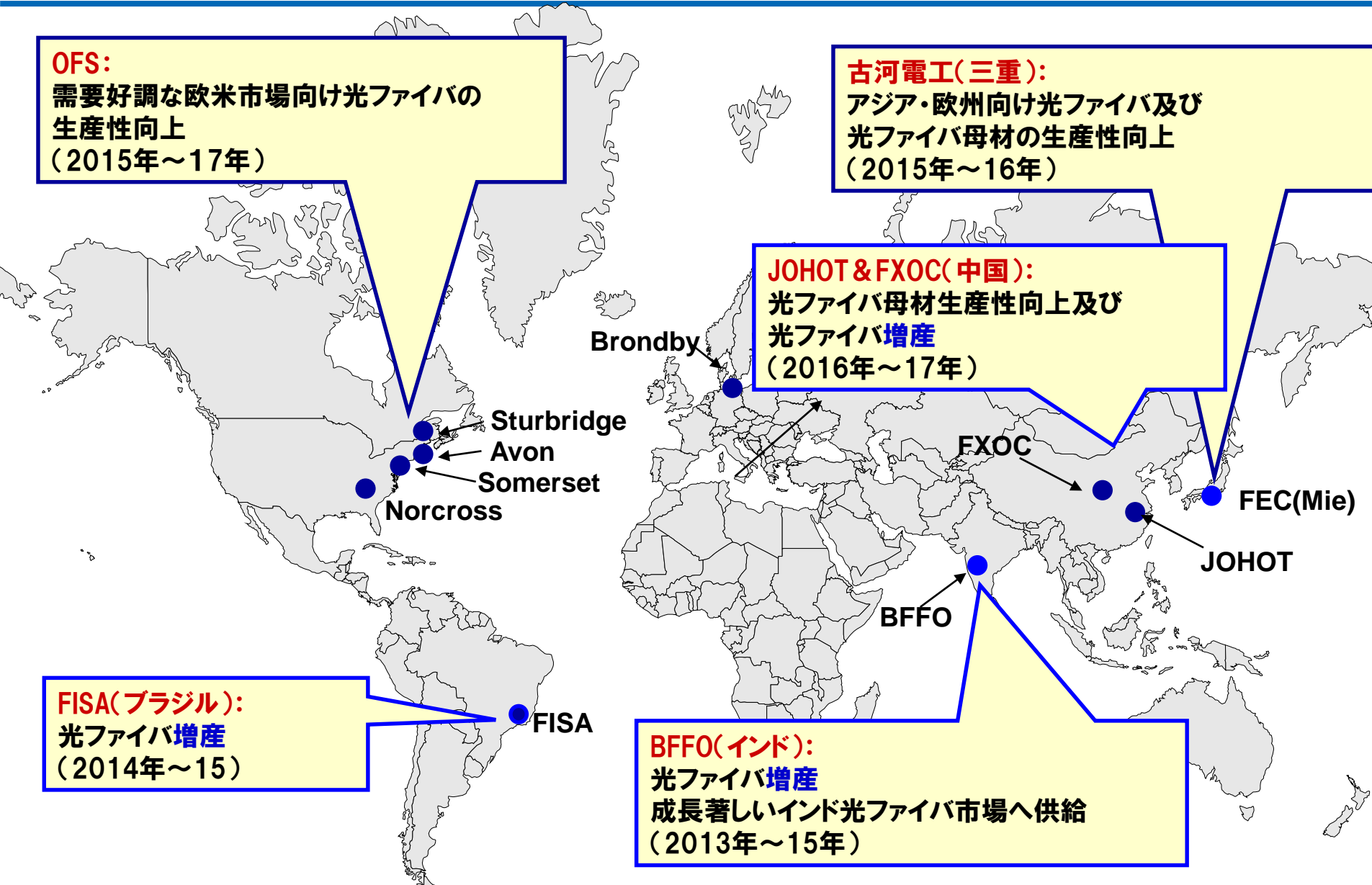
**OFS:**  
需要好調な欧米市場向け光ファイバの  
生産性向上  
(2015年～17年)

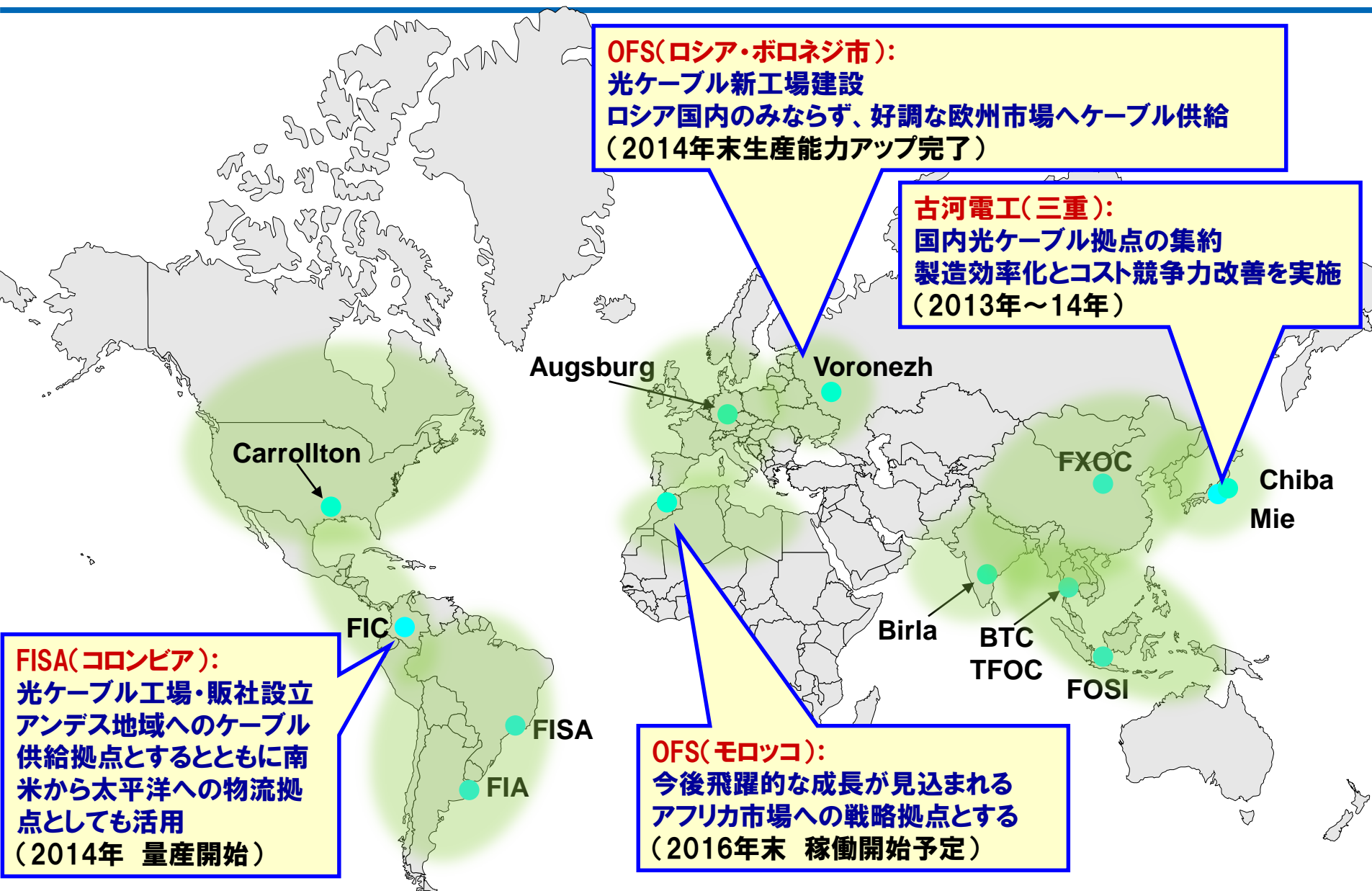
**古河電気(三重):**  
アジア・欧州向け光ファイバ及び  
光ファイバ母材の生産性向上  
(2015年～16年)

**JOHOT & FXOC(中国):**  
光ファイバ母材生産性向上及び  
光ファイバ増産  
(2016年～17年)

**FISA(ブラジル):**  
光ファイバ増産  
(2014年～15)

**BFFO(インド):**  
光ファイバ増産  
成長著しいインド光ファイバ市場へ供給  
(2013年～15年)





## 構内/宅内系 低曲げ損失 施工容易



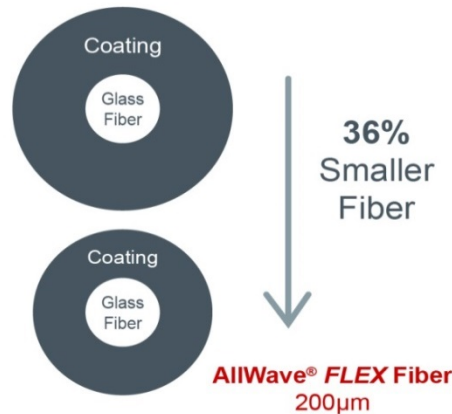
- Excellent macrobend performance
- Easy to install solutions



## 中短距離系 多心・細径・低損失 低曲げ損失



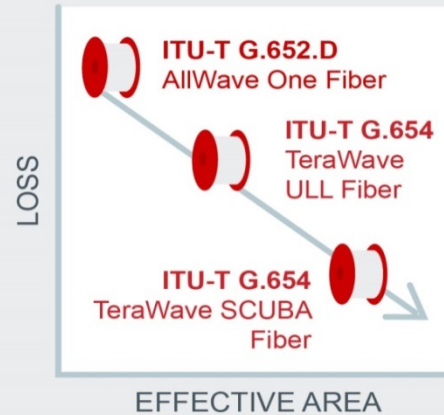
- High density cable designs favor improved macrobend performance, lower loss and smaller diameter fibers



## 長距離系 超低損失 Aeff拡大



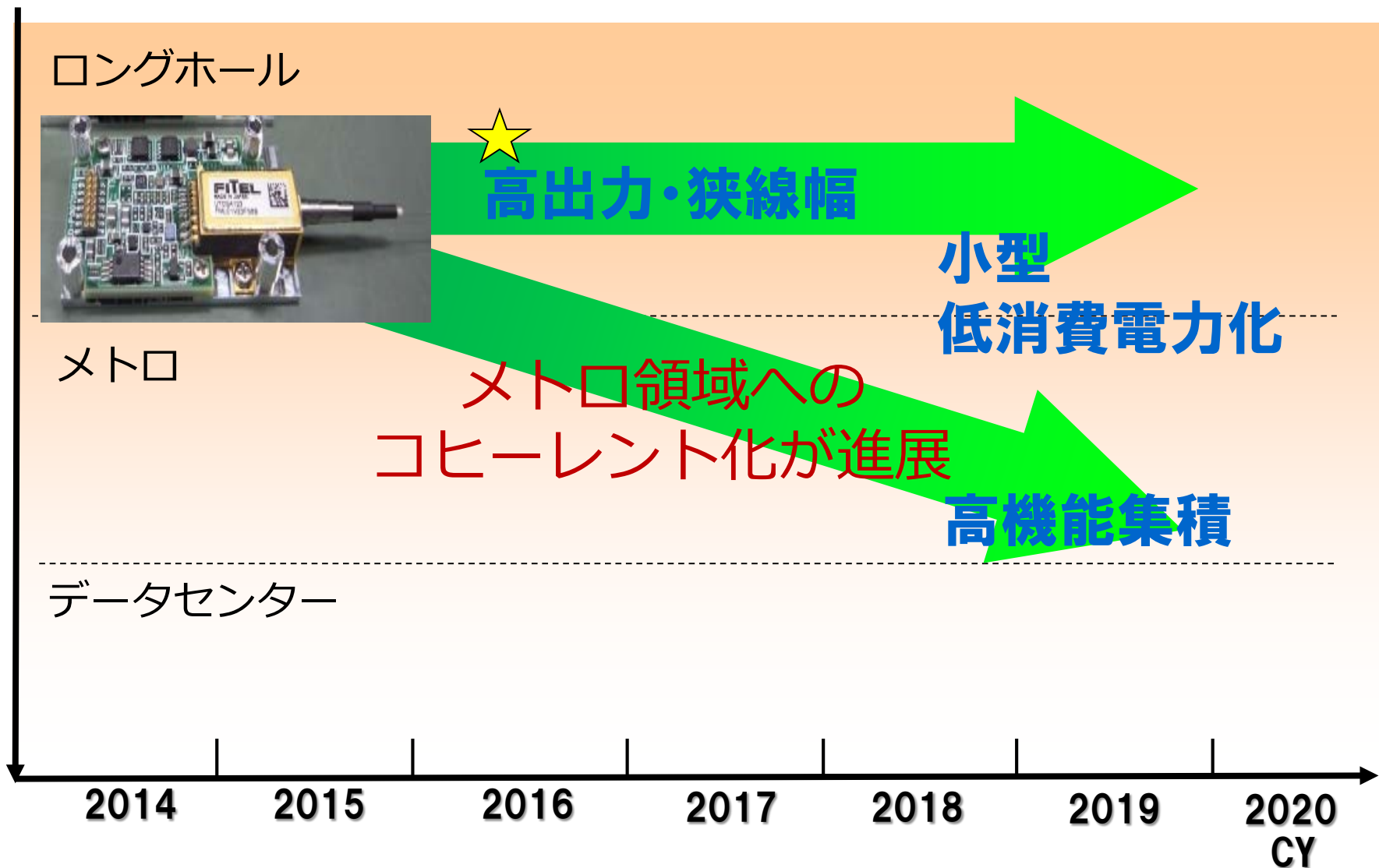
- Coherent transmission systems favor lower loss and higher effective area









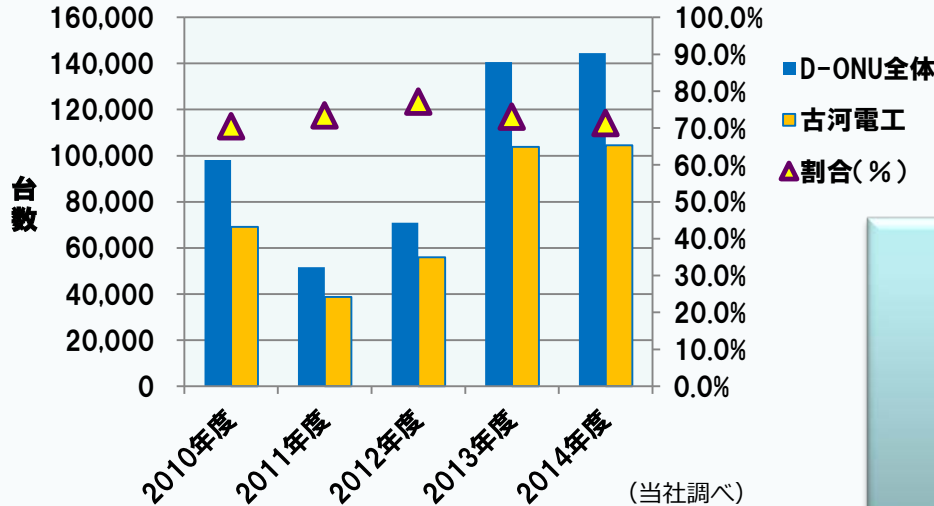


- CATV事業者向け機器からソリューション提案、設計・施工に至るまでシステム全体をワンストップで提供 (45年以上の実績)
- GE-PON通信端末はCATV業界で5年以上トップシェア (70%以上)

FTTHシステム導入実績 業界No.1!

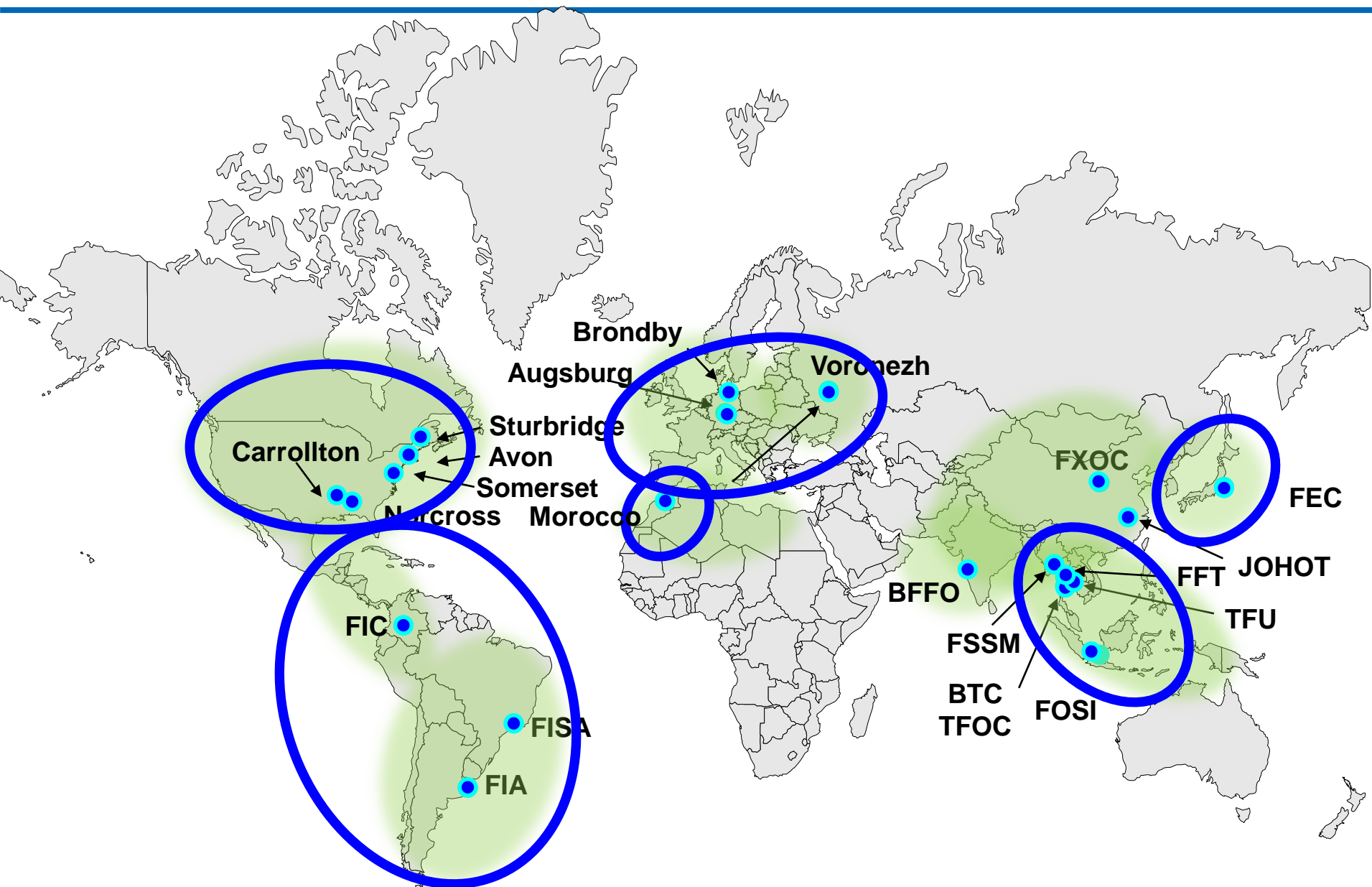


GE-PON通信用端末台数とシェア



高速・大容量通信対応次世代装置 10G-EPONでもトップシェアを維持向上させる  
 ※2016年4月、KDDI様より業界初となる10G-EPON装置と現存GE-PON装置の共存に係る認定を取得

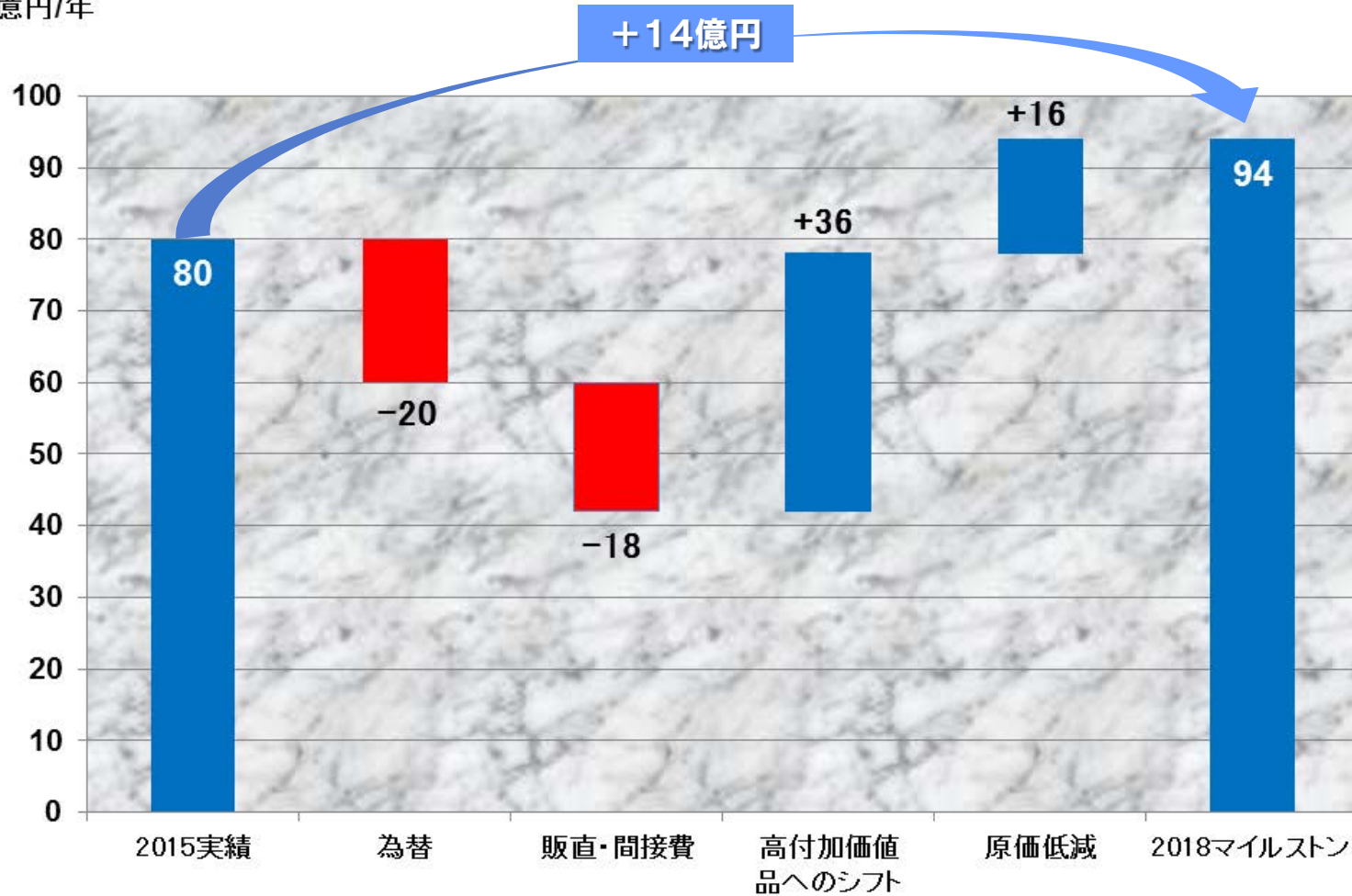
- 永年培った無線技術を活かし、防災分野へのソリューション展開も



# 営業利益目標

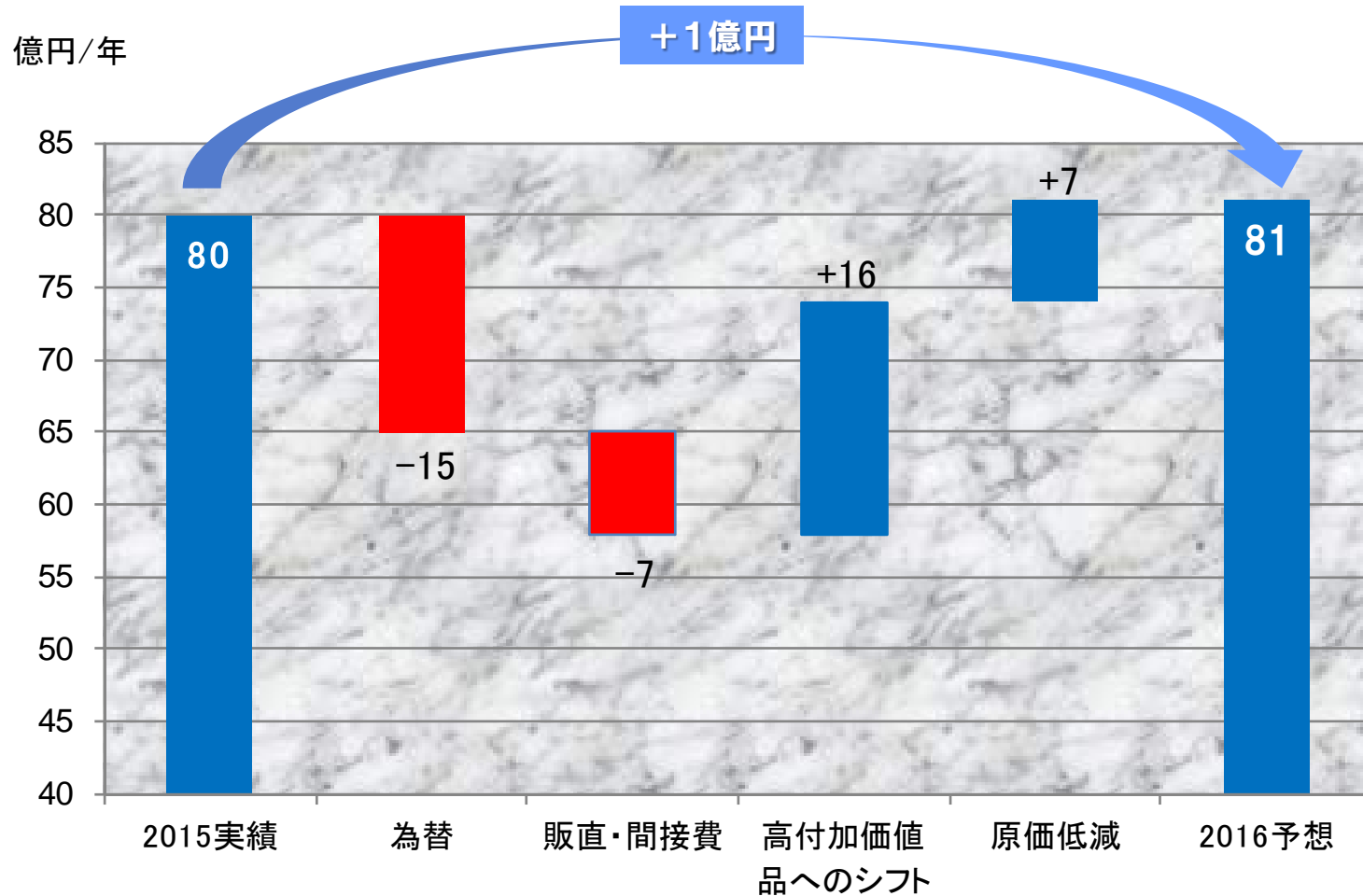
## 15実績対18マイルストーン

億円/年



- 海底用低損失ファイバ
- 超多芯リボンケーブル
- 高出力ITLA

- 光ファイバ生産効率向上



- 海底用低損失ファイバ
- 超多芯リボンケーブル
- 高出力ITLA

- 光ファイバ生産効率向上

- **グローバルな事業運営の推進**
  - 市場ベースの機能別（横串）グローバル組織創設
  - FGS (Furukawa Global Sourcing) 推進
  
- **注力製品の更なる収益力強化**
  - 光ファイバ増産
  - 小型化・新製品充実・コスト低減でITLA世界シェア1位持続
  
- **構造改革による事業基盤の強化**
  - 顧客対応力強化
  - 東南アジア拠点のソリューション事業変換
  - 国内関係会社の収益改善
  
- **新事業・新製品の創出加速**
  - データセンタ市場への超多芯リボンケーブル、海底用低損出光ファイバ等の拡販・開発を強化
  - IoT対応強化(推進チーム創設)
  - ファイバレーザ事業化推進